

教科目名 保健・体育 (Health & Physical Education)

学科名・学年 : 全学科 2 年

単位数など : 必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 授業時間 43.5 時間)

担当教員 : 大庭恵一, 川内谷一志, 田中和彦 (全クラス担当)

授業の概要			
スポーツテスト (運動能力テスト, 体力診断テスト) を実施して, 個人の体力を把握させる。 スポーツテストに含まれる運動技能を向上させ, 個人技能 (陸上競技, 水泳), 対人的技能 (ソフトテニス, バドミントン, 柔道), 集団的技能 (バレーボール, サッカー, バスケットボール) における全体技能 (ゲーム) が遂行可能となるようを行う。保健学習では, 「現代社会と健康」および「生涯を通じる健康」について学習する。			
達成目標と評価方法			
(1) 基礎体力の維持・向上を目標とする。(ゲームと記録) (2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し, ゲームを楽しむことができるようとする。(ゲーム) (3) 保健学習で行った内容を正確に理解する。(定期試験)			
大分高専目標(A1) (B1)			
回	授業項目	内 容	理解度の自己点検
1-3	1. バレーボール	○個人技能の習得, 班編成, ルール, 審判法の確認.	【理解の度合い】
4, 5	2. スポーツテスト	○ {運動能力テスト (4 種目), 体力診断テスト (4 種目)} を正確に測定する.	
6-9	3-1. ソフトボール (男子) 3-2. ソフトテニス (女子)	○ゲームによる技能の向上と審判法の習得. ○ストローク, サーブなどの個人技能の習得.	
10, 11	4. 水泳	○クロール, 平泳ぎの習得.	
12, 13	5. 保健	○「生涯を通じる健康」について学習する.	
14	前期期末試験	○筆記による保健のテストを行う.	【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説	○保健のテストの解答と解説を行う.	
15-17	6. 柔道	○個人技能の習得, 約束練習や簡易試合を行い, ルール, 審判法の習得.	【理解の度合い】
18, 19	7. 陸上競技	○ハードルの基本技能を習得し, 50m ハードルのタイムを測定する. 女子はハードルを低くして指導する.	
20-22	8-1. サッカー (男子) 8-2. バドミントン (女子)	○個人技能の習得後, ゲームによるルール・審判法の習得. ○個人技能の習得後, ダブルスのゲームを学習する.	
23-25	9. バスケットボール	○個人技能の習得. ゲームによるルール・審判法の習得.	
26, 27	10. 保健	○「現代社会と健康」について学習する.	
28	後期期末試験	○筆記による保健のテストを行う.	【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説	○保健のテストの解答と解説を行う.	
履修上の注意	授業は時間厳守とする.		
教科書	高石昌弘, 小沢治夫ほか, 「現代保健体育」, 大修館書店.		
参考図書	秋山兼範, 麻生紘二ほか, 「最新スポーツルール」, 大修館書店.		
自学上の注意	授業で行うスポーツのルールを調べておく.		
関連科目	保健・体育 (1 年, 3 年)		
総合評価	達成目標の(1)から(3)について実技と試験で評価する. 総合評価 = $0.8 \times$ (授業で行った各種目の実技点の平均) + $0.2 \times$ (保健テスト点) 総合評価は, 前期評価と後期評価を平均して評価する. 授業態度により, 評価点からその 20% を上限として減点を行う. 総合評価 60 点以上を合格とする. 再試験は, 実施しない.		
	【総合評価】 点		